

新年明けましておめでとうございます。

昨年は全国大会についての新しい試みを2件開催しました。

第一は、10月に福島県で開催した「第1回日本シニアテニス全国親睦大会」です。参加した会員の皆様の親睦に重点を置くために、これまではペアで申し込みをしていた全国大会を一人で申し込みをすることにし、本部でチーム編成をしまして試合ごとにパートナーが変わることになりました。2日目は雨のため実施できませんでしたが、参加した皆様には好評でしたので、今後とも秋の全国大会は親睦に重点をおいたものにするので考えております。今年は「第2回日本シニアテニス全国親睦大会」を10月に石川県で開催します。

第二は、4月に開催の「日本シニアテニス連盟団体戦 in 赤穂」です。会員の皆様により多くの親睦の機会を持って頂くことと地域のより一層の活性化をはかるために企画を致しました。4人でチームを編成する団体戦ですが、ちょうど満開の桜の下での楽しい大会でした。今年は「日本シニアテニス連盟団体戦 in 秋田」と命名し7月に秋田県で開催します。

これらの新しい試みにも多くの会員の皆様のご参加を期待しております。

これまで通りのペアでの申し込みによる第37回全国大会は、一昨年の震災からの復興支援の意味を込めて熊本県で、5月に開催します。

一昨年から理事会が組織として連盟を運営していくために、理事を財務・広報・募集部、大会競技部、普及・指導部の3部にわけ、次年度の事業計画及び予算の立案に携わることになりましたが、昨年はこれを財務部、広報・募集部、大会競技部、普及・指導部の4部に改めました。

また、理事の候補者は代表会員でなければならなかったことを改め、一般会員でも理事会による審査を経ることにより理事に選抜することができることにしました。

以上のような改定により理事会の組織としての活性化を進め、鈴木義一初代会長が掲げていた「日本をシニアテニスの楽園にする」という目標を目指して、各理事と一体となって力を尽さなければならないとの思いを新たにしております。皆様のご理解とご協力をお願いします。

新しい年が皆様にとってよい年であるようお祈り申し上げて、新年のご挨拶といたします。